

事務事業名		関東菊花競技大会開催支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	2 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光立市推進係	担当課長名	小野 勉	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 総合的な誘客を図る観光戦略の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10713	一般	7	1	3	関東菊花競技大会開催支援事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			任意的事業・義務的事業		任意的事業		
		実施方法		直営			事業分類		支援事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	なし					
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
関東菊花競技大会は、晃陽会・佐野市主催の菊の競技大会であり、昭和4年の第1回大会以来一度も欠かすことなく開催されてきた歴史ある大会である。 本事業では、関東菊花競技大会の開催支援(後援・協賛依頼、賞状下付申請・判徴求、チラシ・ポスターの配布、児童絵画展の依頼・審査依頼・集計、報告書作成、表彰式の開催)を行う。			・後援・協賛依頼を行った(9～10月) ・賞状下付申請・判徴求を行った(9～11月) ・晃陽会作成のチラシ・ポスターの配布を行った(9～10月) ・児童絵画展の依頼・審査依頼・集計を行った(9～11月) ・第86回関東菊花競技大会の開催(平成26年11月1日～23日 春日岡山惣宗寺境内にて) ・表彰式の実施(11月23日、佐野市中央公民館3階ホールにて) ・観光ボランティアを設置し、佐野市内の観光案内を行った。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			後援を依頼した事業所・団体数	件	7	7	7	7	7	
			賞状を依頼した事業所・団体数	件	25	25	25	25	25	
			児童絵画展への作品応募数	枚	154	131	130	130	130	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
①(支援団体)晃陽会 ②菊愛好家 ③市民 ④観光客			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			菊愛好家数	人	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
			人口	人	123,182	122,582	121,522			
			観光客入込数	千人	8,576	8,623	9,000	9,500	10,000	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
①菊愛好家の意識向上 ②市民の社会情操教育と文化の向上、菊花栽培の観賞と普及発展 ③観光誘客、菊花栽培の観賞と普及発展			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			菊花出品数	品	1400	1300	1400	1400	1400	
			来場者数	人	310000	310000	310000	310000	310000	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
国内に居住する人に本市の魅力を知ってもらおう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			コンベンション事業数	事業	8	8	6	7	8	
			口ケ誘致件数	件	5	42	45	50	55	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円		700	700			
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,550	700	700	1,400	1,400	
	事業費計(A)	千円	1,550	1,400	1,400	1,400	1,400	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	1,550	補助金	1,400	補助金	1,400
	人件費	人	2	2	2	2	2	
のべ業務時間	時間	300	300	300	300	300		
人件費計(B)	千円	1,167	1,182	1,182	1,182	1,182		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,717	2,582	2,582	2,582	2,582		

事務事業名	関東菊花競技大会開催支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	----------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和4年に菊愛好家が集い設立した晃陽会が、社会情操教育、文化の向上、菊花栽培観賞及び普及発展を図り、もって佐野市の観光行政の発展のために開催した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	菊愛好家の高齢化により、菊花の出品点数が減少傾向にある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	菊愛好家の高齢化により、菊花の出品点数が減少傾向にある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	高齢化に伴い、菊花の出品数が減少傾向にあるので、新たな愛好家の開拓が必要である。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市内外からイベントに関する問い合わせが多く、イベントに関心が寄せられていることが視え、佐野市観光誘客イベントとして政策体系と結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	大会を主催する晃陽会と協力をしながら事務を行っているが、会員の高齢化のため、現状より会に負担がかかることは厳しい。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	大会を盛り上げる、観光誘客を図る意味で妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	平成24年度で第84回と歴史ある大会であり、成果は上がっている。また、晃陽会会員の高齢化のため、現状より会に負担がかかることは厳しい。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	運営費のうち消耗品費や雑費等は削減してきているため、今後の大幅な削減は厳しい。晃陽会会員の高齢化のため、現状より会に負担がかかることは厳しく、また、今後はさらに市の事務の負担が大きくなる可能性が高いため、人件費の削減は厳しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	主催の晃陽会会員が受賞者である、1人が複数の賞を受賞しているなど若干の偏りがみられるため、晃陽会会員以外の出品者を増やしていく努力が必要である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
主催の晃陽会が大会の開催を休止(廃止)すると判断した場合、もしくは晃陽会が解散となった場合、この事業は休止(廃止)となる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
受益者負担の適正化 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①市内外へのPR強化により、晃陽会以外の出品者の増加を図る。あわせて観光誘客を図る。 ②補助額を下げることで、受益者負担を上げる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>①②</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	①②		×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	①②		×																			
	低下		×	×																			